

2022年10月9日

“愛と受容” Love and Acceptance)

前奏

鈴木義兄

賛美歌番197番

おこりてたおるる 世のくにぐに たちてはくずる なみににたり

ただ主のみくにぞ とわにたてる みだれのあらしの たけるなかに

うごかぬすがたは やまのごとく ひろけきころは 海にまさる

みちくるうしおの さまとばかり すすむか みくにのきよきちから

聖書拝読 創世記37章23-36節

説教

“ヨセフの物語 1”

Scroggins 由紀牧師

後奏

鈴木義兄

“こういうわけで、キリストもわたしたちを受け入れてくださったように、あなたがたも互に受け入れて、神の栄光をあらわすべきである。” (ローマ人への手紙15章7節)

秋が深まり、落ち葉が舞う季節になると、家族が集まるホリデーシーズンが近づく予感がありますが、私は40年以上前に上映された”普通の人々”(Ordinary People)の冒頭で流れていた音楽とともに、落ち葉が舞っている場面を思い出します。絵にかいたように成功した家族の長男が他界した後、残された家族の在り方を描いたドラマです。私が中学3年の時のあるクラスメートにも似た境遇の人がいたのですが、精神が崩壊し、学校をやめてしまったのを覚えており、私にとってはその同級生を思い出すとともに家族の在り方を考えさせられる映画でした。経済的に恵まれ、すべてが順調に言っているかに見えた家族に起こった事件と変わっていく家族の関係を通して、互いに本当の愛と受容があるのか、と映画は問いかけているようでした。普通のどこにでもある家族の中にある闇を描いた名作でした。

実際の家族の中でさえ愛と許容は必ずしもあるとは言えないなか、教会の中で愛と許容が難しいのは当たり前かもしれません。しかしキリストが私たちを受け入れてくださったように、互に受け入れて、神の栄光をあらわすべきである、というパウロの言葉には、クリスチャンが互いに受け入れあうのは、キリストからくる愛により、神に栄光を表すために行うのであり、自分たちだけのためではないということがわかります。人間は自分たちの利益だけを思っていると、なかなか自分と違う相手を受け入れることができませんが、キリストに受け入れられたものとして、神の栄光を表すために、と行うと意味が違ってきます。どうか私たちの生活委において、愛と受容があります様にお祈りします。

(Yuki Scroggins)

消息

—教会の内外で主の癒しを必要とされている方々のために、また、世界におけるパンデミックが一日も早く終息に導かれるように、またウクライナに平和がもたらされるように祈りましょう。

お知らせ

—10月23日の日曜日は、午前10時より2023年度の約束献金を提出する Pledge Sunday の合同礼拝が行われます。どうぞ皆さんご参加ください。

—10月30日の英語部礼拝には、去年天に召された南部勝牧師のお子さんである Jonathan and Thelma Nambu ご夫妻が来られます。

—ウクライナの危機に関して、International Ministries では支援を行っております。興味のある方は下記のリンクを通して寄付をしてください。支援金は、ウクライナのバプテスト教会へ送られます。

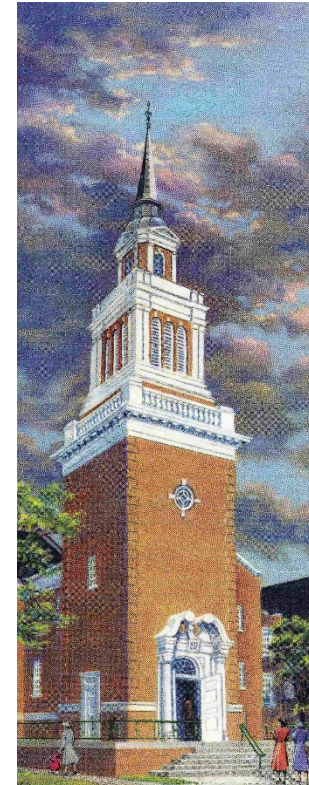
<https://www.internationalministries.org>

—アメリカでは、パンデミック以来、アジア系住民への差別偏見が問題になっていますが、アジア系であるということで、嫌がらせなどの被害を受けた方は、Stop AAPI Hate のサイトで被害を報告することができます。また、政治的な活動については、AAAJ (Asian American Advancing Justice) などのサイトをチェックされることをお勧めいたします。

発行: 2022年10月5日 ノースショアバプテスト教会日本語部

スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

電話: 773-728-4200



週報

第3893号

2022年10月9日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Language Group

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Phone: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org